

朝日大学病院を受診された患者さまへ

研究情報の公開について（オプトアウト）

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明し同意をいただきます。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いるものは、国の定めにより、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得る必要はなく、研究の目的や方法などの情報を公開のうえ、拒否の機会を保障しなければならないものとされております。このような手法を「オプトアウト」といいます。当院では、このオプトアウトを用いた研究を下記のとおり行います。研究への協力を希望されない場合は、下記に記載の担当者までお知らせください。

研 究 課 題 名	骨シンチグラフィにおける Defilter 機能が Bone Scan Index へ与える影響
当院の研究責任者 (所 属)	三木一孝（放射線部）
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本 研 究 の 目 的	当院の骨シンチグラフィでは診断の補助として解析ソフトウェア（VSBONE BSI, メジフィジックス）を用いた定量解析を行っている。VSBONE BSIは撮影装置と独立した外部ソフトウェアであり、ホットスポットの数と、腫瘍の広がりを反映するBSIを自動で算出できる。 一方で、当院の撮影装置（NM830, GE）から出力される画像には装置特有の画質改善処理（Clarity2D, GE）が組み込まれており、この処理がVSBONEにおけるBSIの値に影響することが知られている。その対策としてDefilter機能が登場し、VSBONE上で画質改善処理の影響を補正することでより正確なBSIを算出することが可能になった。本研究ではDefilter機能のBSIへの影響を把握することで、より正確な診断補助画像を提供することを目的とする。
調査データ該当期間	2022年1月から2025年12月
研究の方法（使用する 資料等）	上記期間で撮影済みの骨シンチグラフィ全身画像を使用して、Defilter 機能を On/Off と切り替えた際の BSI の変化を調査する。
試料/情報の他の機関 への提供	放射線部より他の部門・病院外へは持ち出さない
個人情報の取扱い	「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」及び適用される法令等に従い、画像の匿名化を行い個人情報が漏れないように配慮する。
本研究の資金源（利益 相反）	利益相反無し
お 問 い 合 わ せ 先	研究代表者 朝日大学病院放射線部 中矢周人
備 考	